

▲南あわじ警察署で委嘱状が手渡されました（4月1日）

地域の交通安全のリーダーとして活動する「地域交通安全活動推進委員」の委嘱状伝達式が4月1日、南あわじ警察署で行われました。

市内での推進委員は5人で、高齢者宅を訪問して交通安全を呼びかけたり、地域の人たちからの意見を聞いたりして、交通安全の啓発や交通モラルの向上にむけたPRなど幅広くボランティア活動を行います。兵庫県公安委員会から委嘱され、任期は2年で、

地域交通安全活動推進委員の委嘱状伝達式

再任もありません。伝達式では4人が出席して中本忠署長から一人ひとり委嘱状が手渡されました。市内で活動している委員は次の人たちです。

（敬称略・順不同）

◆地域交通安全活動推進委員

久井 輝洋（神代 再任）
竹中 正勝（阿那賀 再任）
松本 裕昭（阿万 再任）
岡田 秋廣（広田 新任）
藤本 裕子（八木 新任）



▲南淡路農業公園株式会社に指定証を交付しました

淡路ファームパークイングラントの丘の指定管理者に「南淡路農業公園株式会社」が決定し、3月31日、指定証を交付しました。

指定管理の期間は、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間です。

指定証を受け取った同社の田村事務局長は「公共の施設を管理していることを念頭に置いて、これからも適切な維持管理と地域貢献に務めた」と話しました。

イングラントの丘の指定管理



▲戦没者に献花を行う参加者

先人の戦争で戦地に赴き、尊い命を落とした2499人を悼む「南あわじ市戦没者追悼式」が4月8日、文化体育館で行われました。

式には戦没者の遺族約350人が出席。舞台に設けられた慰霊碑に戦没者の魂を招き、犠牲者に黙とうを捧げました。

また参加全員が白い菊の花を献花し、犠牲者の魂を慰めるとともに、恒久平和を祈り手をあわせていました。

恒久平和を誓い、戦没者追悼式

第34代クイーン淡路に就任した市内在住の平川恵理佳さんと藤原美香さんの2人が3月27日、市役所中央庁舎を訪れ、中田市長に就任の報告を行いました。

中田市長は「忙しいと思うが、頑張つて欲しい」と激励。平川さんは「生まれ育った淡路島に恩返しできるように頑張りたい」、藤原さんは「淡路島の良さを伝えられるように一生懸命1年間務めます」と意気込みを語りました。

クイーン淡路、市長を訪問



▲中田市長を訪問した平川さん(中央)と藤原さん(右)

家畜共済に永年加入の多頭飼育農家のうち、飼育管理が優秀で事故が極めて少ない農家に対し、兵庫県農業共済組合連合会長の表彰が贈られました。（敬称略・順不同）

▽乳牛の部

太田 昭司（八木）
中村 秀吉（北阿万）
細川 知大（八木）

▽肉用牛の部

藤原 孝（後文）
南 昌明（賀集）
前川 正一（榎列）

優良農家表彰

市民交流センター(モデル地区)が開設1年を迎えました

～ モデル地区の検証状況のお知らせ ～

平成27年4月からの本格実施に先立ち、平成25年4月からスタートした松帆、伊加利、西淡志知、神代、三原志知の5地区の市民交流センターモデル事業について、1年目の検証を行いました。

☎市民課 ☎43-5023

ご存知ですか？

市民交流センターには、次の3つの役割があります。この3つの役割ごとに基本的な視点を定め、モデル検証を行いました。センターの主な目的である役割1「地域コミュニティの支援」を中心に検証状況の概要をお知らせします。



松帆地域づくり協議会の様子

役割1 地域コミュニティの支援(住民主体の地域づくりへの支援)

【ねらい】自分たちの地域にある様々な課題や地域を良くすることについて、みなさんが集まり話し合っていくという「地域の話し合いの場づくり」がどのように創られているか

【みえた課題】

- ・地域づくり協議会が発足したが、地域の話し合いの場としての仕組みづくりにおいて苦慮している
- ・地域づくり協議会と既存団体等との連携を強化するため役割を明確にしていく
- ・地域づくりの主役である住民との情報共有が不足している(情報提供の充実)

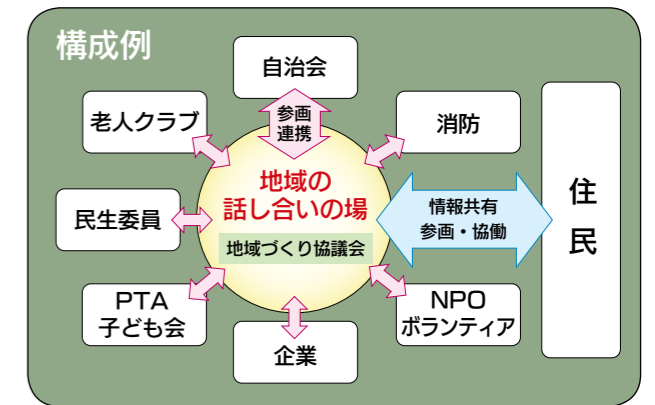
【意見】

- ・地域のつながりが希薄化している
 - ・活動の実施主体が少なく、役員中心の活動となっている
 - ・地域やまちづくりへの関心がまだまだ低い。関心があっても当事者としての意識が低い
- (大いにある・ある程度関心がある割合: 松帆61%、伊加利45%、西淡志知53%、神代66%、三原志知59%)
- ・地域づくり協議会や地域活動の取り組みが十分に周知されていない
- (取り組みの認知度: 松帆30%、伊加利51%、西淡志知39%、神代39%、三原志知47%)

※平成25年度に各市民交流センターで実施した「地域づくりに関する住民アンケート調査」より

【対応方向】

- ・「組織・人づくり」をテーマに研修をするなど、地域づくり協議会の体制強化を図る
- ・地域や地域活動に関心が高まるよう情報の共有化を図る(地区広報紙等の充実)



役割2 市役所窓口サービスの補完(住民票等諸証明の発行、書類等の取次ぎ)

【検証概要】市役所の窓口サービスを補うため、モデルとして行っている各種証明書の発行や市役所への書類等の取次ぎにおいて、「気軽に利用できる身近な窓口」となっている。また、窓口事務においても概ねスムーズに行われている。

| 平成25年度 | 松帆 | 伊加利 | 西淡志知 | 神代 | 三原志知 | 合計 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|
| 証明書発行件数 | 226件 | 111件 | 166件 | 235件 | 233件 | 971件 |
| 申請者数 | 147人 | 84人 | 124人 | 193人 | 154人 | 702人 |
| (地区人口との割合) | 3% | 15% | 10% | 6% | 11% | 6% |
| (地区世帯数との割合) | 7% | 38% | 29% | 17% | 32% | 16% |

役割3 公民館活動(従来の公民館活動を引継いでいく)

【検証概要】主催事業、講座・サークル活動など、市民交流センター開設後においても、従来の事業や活動を引継いで行っており、更には、地域づくり事業交付金を活用し、地域のつながりを強化するため交流事業を拡充するなど充実されたものもみられる。引き継ぎ今後も、地域のみなさんが集い、楽しみや学習の場となるよう取り組んでいく。